

北朝鮮
ロケット

発射計画は撤回せよ

日本共産党 志位委員長が談話

北朝鮮のロケット発射計画について、日本共産党の志位和夫委員長は1日、談話を発表し「新たな発射計画の撤回を強く求める」と表明。

「北朝鮮が国連安保理決議を順

守し、日朝平壤宣言、6カ国協議の共同宣言に立ち返る」こと、国際社会が「非軍事的・外交的手段に徹しながら、一致した対応で北朝鮮への働き掛けを強めるよう呼びかける」とのべました。

日本
共産党

「右へ右へ」の流れと対決 憲法9条守りぬく

自民党が「国防軍をつくる」と公約し、民主党が「集団的自衛権（集団的侵略）の行使」を表明するなど憲法9条を壊す動きが急。海外で戦争する国づくりが狙いです。自・民が変えようとしている9条2項は平和を守る上で偉大な力を発揮している平和憲法の核心。日本共産党は「9条を断固として守り抜く国民の多数派をつくらう」と呼びかけています。

維新 核兵器大好き

「核兵器を持つべきだ」
「非核宣言は見直せ」
「核廃絶は難しい」

未来 改憲発言相次ぐ

「自衛隊は軍隊と明記を」
「自衛のための国軍を持つ」
“集団的自衛権行使へ法整備”

折り目

原発「即時ゼロ」

日本共産党

福島県では今も16万人が避難。二度と原発事故を起こしてはなりません。日本共産党は「即時原発ゼロ」を提言し、首相官邸前行動など市民の運動と連帯しています。



反原発国会周辺行動で訴える志位委員長（9月14日）

この願い託せる確かな党です

建設当初 1955年 からずっと反対

猛暑の夏も原発なしで電気は足りました。国民は全原発の停止も体験しましたが、混乱は起きませんでした。即時原発ゼロを決断し、自然エネルギーに切り替えることこそ、最も責任ある政治の姿です。

日本共産党は1955年の原子力基本法制定に反対。建設当初からずっと原発の「安全神話」に警鐘を鳴らしつづけてきました。即席の「脱原発」ではない、「原発ゼロ」の願いを託せる確かな党です。

総選挙は比例と小選挙区の2票あります **比例は「政党名」をお書きください**

近畿民報

発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所
2012年12月号外 No.1

〒540-0004
大阪市中央区玉造2丁目15番7号USビル2F
TEL 06 (6764) 9111 FAX 06 (6764) 9115
※日本共産党は以上の見解を発表しました。

新しい視点 展望しめす
しんぶん赤旗
日刊紙 ●月3,400円
日曜版 ●月 800円